



まつざき ゆうこ
松崎優子さん
淡路市立石屋小学校教諭

神戸市出身。県立星陵高校から平成20(2008)年に学校教育学部総合学習系コースに入学。24(2012)年に卒業し、現任校に着任。今年度は2年生を担当している。



→教員の面白さを感じるのには、一人一人違う子どもたちの考えが一つにつながる時。その手助けを上手にするのが課題です

大学時代に経験したことは 教員になって必ず役立ちます

小 学校教員になって2年目。つくづく感じるの「子どもは素直さの塊である」ということです。例えば、自身が授業を楽しんでやっている、子どもたちも楽しそうに食いついてきます。逆に、納得いかない授業には子どもたちも乗ってきません。勉強以外でも同じことがいえます。私はソフトボールが好きだと言うと、「ソフトボールってどうやってやるの?」「先生、昨日の阪神戦観た!」などとキラキラした目で話してくれます。「これはしてはいけ

ない」と教える時も、自分の体験談を話すと、彼らは真剣な目で聞いてくれます。兵教生の皆さん、在学中に経験したことは将来、必ず自分に返ってきます。私は海外でボランティア活動をしたり、コースの仲間と夜遅くまで勉強したり、鍋を囲んで笑い転げたりと、いろいろなことをしました。そんな経験が現在のパワーになっています。大学時代に自分がわくわくする経験をたくさん積んで、子どもたちにその素晴らしさを伝えてあげましょう。



はいの よしき
拝野佳生さん
伊丹市立有岡小学校教諭

西宮市出身。大阪教育大学卒業。伊丹市立伊丹養護学校(現伊丹特別支援学校)に勤務していた平成9(1997)年、大学院修士課程生徒指導コースに入学。今年度は現任校に異動し、2年生を担当。



→車椅子の児童と一緒に長縄跳びにチャレンジ

大学院の学びを生かして 念願の臨床心理士に

教 職に就いて以来、不登校やいじめなど、生徒指導上の諸課題と向き合う中で「心理的側面」の大切さを日々痛感していました。臨床心理学を本格的に学びたいと思い、生徒指導コースに入学しました。在学中は学外でのスーパーヴァイズ、学内でのケースカンファレンスなどを通して、多くのことを学びました。心理臨床セミナーや各種学会等での発表も、心理臨床の基礎を学ぶ絶好の機会となりました。修了後、勤めていた養護学校

に相談室を開設しました。教育相談に応じる一方、校内ではプレーセラピー的な「あそび」の授業を試行錯誤していました。それらの臨床経験に基づき、念願だった臨床心理士の資格を取得できました。現任校では臨床心理士の研修などで得た学びを取り入れながら、子どもや親、同僚たちとの「つながり」を大切にしています。現在の教育実践に大学院時代の経験が生かされていることを思うと、先生方や同窓生たちへの感謝の思いでいっぱいです。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第33回大学院同窓会・九州大会の開催

大学院同窓会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は福岡県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月3日④・4日⑥
- ◎会場 福岡リーセントホテル(福岡市東区)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表講演「学び続ける教員像」/加治佐哲也学長 太宰府天満宮や九州国立博物館などの見学